

初めての一年生を迎えるまで



入試センター部長（創設時） 窪田(渡辺) 夏子

当時は、新学部設置に対し設置条件はかなり厳しく、自由度は広くありませんでした。当然、人間社会学部も難産の末の誕生です。

申請から開設まで2年間ありましたが、それでも学生募集に向けては遅い位のスタートでした。

創造の翼をいっばいに広げ、絶対に元気で大きく育つようパンフレットのデザイン、説明の方法（多少おおげさに）など工夫する話し合いを積み重ねました。そして赴任予定の長尾先生、飯田先生、矢部先生、壘先生、松浦先生方に年間9回にもものぼるオープンキャンパスへのご協力です。これがなければ今の姿はなかったかもしれません。受験生や保護者のために大奮闘。人手が足りないときは私などさえ動員されて説明に明け暮れました。

次第に環境も整い、いよいよ入試です(許可は平成15年11月)。指定校推薦から始まり、公募推薦入試、一般入試と願書受付状況の推移に先生方も入試センターも一喜一憂したものです。その結果が下表です。

年度	定員	志願者	受験者	合格者	手続者	入学者
平成16年度入試(2004年4月入学)	140	413	397	231	188	183
平成17年度入試(2005年4月入学)	140	747	718	352	186	157

この数字は既存学科に引けをとらない、いえそれ以上の志願者を集めました。この幸先のよいスタートは現在につながっているのではないのでしょうか。初めよければ～です。

新学科の誕生！今までの苦労が達成感、充実感に変わるその喜びを先生方と入試センターが共有出来たことは本当に素晴らしい体験であり、思い出になりました。そして、初めての一年生を送り出したことも。

最後に実践女子大学の人間社会学部が輝き続けることをお祈ります。